

志賀原子力発電所2号機 燃料プール冷却浄化ポンプの自動停止について

志賀原子力発電所2号機（第3回定期検査中）において、2024年4月25日（木）17時22分頃、燃料プール冷却浄化系の点検に伴い、燃料プール冷却浄化ポンプ（以下、「FPCポンプ」）2台運転の状態から1台運転にするため、FPCポンプ（B）を停止したところ、FPCポンプの流量異常を示す警報が中央制御室に発生し、運転中のFPCポンプ（A）が自動停止しました。

調査の結果、FPCポンプ2台運転から1台を停止する際に、本来、ポンプ吐出流量を減少させる操作を実施すべきところ、流量を減少させる操作を実施しておらず、FPCポンプ（A）側の流量が通常時より多くなったことを検知し、ポンプが自動停止したことを確認しました。

その後、自動停止したポンプを含め、使用済燃料貯蔵プールの冷却に必要な設備に異常がないことを確認し、同日19時15分にFPCポンプ（A）を再起動しました。

使用済燃料貯蔵プールの水位及び水温に変化はなく、使用済燃料プールの冷却に影響はありませんでした。

なお、本事象による外部への放射能による影響はありません。

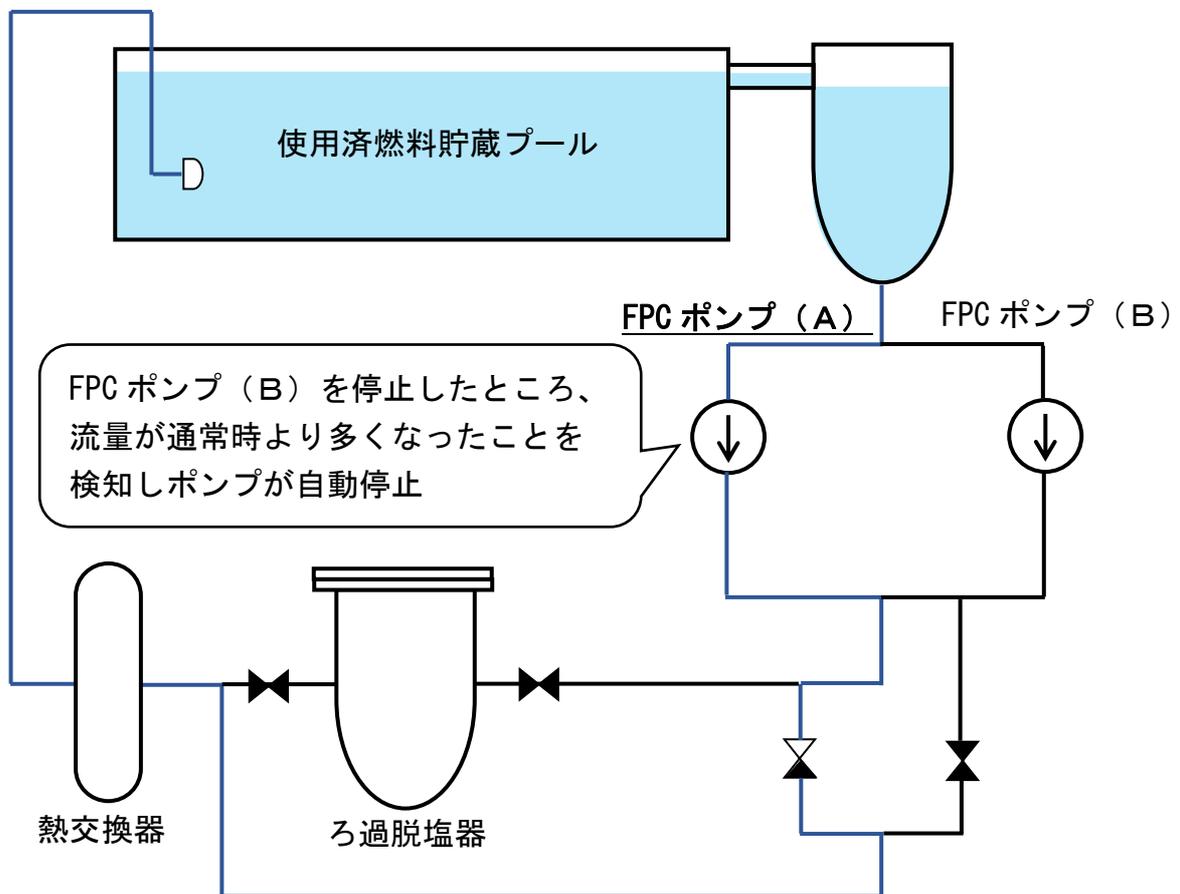


図1 燃料プール冷却浄化系 系統概要図